

令和5年度 第7回中区協議会

# 会議資料

## 【協議事項】

ア 区再編後の区協議会の仕組み等について

## 【報告事項】

ア 令和5年度静岡県総合防災訓練 中区本部訓練の実施報告について

令和5年10月26日開催

中区協議会

## 第9号様式

## 区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	区再編後の区協議会の仕組み等について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>○背景及び経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年11月に、区再編時の組織や区協議会に関する条例改正の骨子について、各区協議会へ諮問。</li> <li>・令和5年2月の市議会特別委員会において、「浜松市区及び区協議会の設置等に関する条例」が議決され、大枠が決定。</li> <li>・令和5年6月から9月までの市議会特別委員会において、区協議会等の細かな運用面について協議し、規則やマニュアル等の内容について概ね了承。</li> </ul>				
対象の区協議会	全区協議会				
内 容	<p>市議会特別委員会で概ね了承された区協議会や地区コミュニティ協議会の仕組みや内容について報告し、意見を伺うもの。</p> <p>1 協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区協議会の運用について</li> <li>・地区コミュニティ協議会の運用等について</li> <li>・コミュニティ担当職員の役割について</li> </ul> <p>2 参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区協議会運営マニュアル</li> </ul>				
備 考 (答申・協議結果を得たい時期、今後の予定など)					
担当課	市民協働・地域政策課	担当者	小久保	電話	457-2094

## 令和5年度静岡県総合防災訓練 中区本部訓練の実施報告

### 1 概要

静岡県は、大規模な地震災害に対処するため、毎年県内市町とともに総合防災訓練を行っており、令和5年度は静岡県・浜松市・湖西市の共催で実施された。

中区本部では避難所運営・開設訓練を行い、住民主体の避難所開設の初動対応を検証するとともに、関係機関の連携体制を確認し、地域としての防災力の向上を図った。

### 2 訓練概要

日時・場所	令和5年9月3日（日）8：30～11：30 浜松中部学園
参加機関	自主防災隊、消防団、静岡県看護協会、静岡県トラック協会、米海兵隊、自衛隊、静岡県、浜松市（警備部、物資管理部、中区本部）等 （参加人数：約170人）
訓練内容 ・ 検証項目	（1）避難者受付・配置訓練【中区本部】 住民による避難所開設時の初動対応を検証 （2）マンホールトイレ組立訓練【中区本部】 災害時トイレの組立手順を確認 （3）応急手当講習・市民レスキュー訓練【警備部】 身近なものを活用した応急手当や救出救助に関する訓練 （4）緊急物資受入れ訓練【物資管理部】 国からの支援物資の受入や保管等、一連の流れを検証 （5）部隊進出受入れ訓練【県危機対策課】 米海兵隊からの支援物資の受入を訓練

### 3 訓練成果

- （1）避難所開設時の初動対応となる避難者を受け避難所内に配置するという一連の流れを、運営を担う自主防災隊や地区防災班が確認することができた。また、それを円滑に行うための地域間の事前協議の重要性を認識することができた。
- （2）マンホールトイレや段ボールベッド等の災害時に使用する資機材について、自主防災隊等が実際に組立てたり体験したりしたことで、その手順を学び、また備えの重要性を認識することができた。
- （3）支援物資の受入れについて、自主防災隊、地区防災班、中区本部がそれぞれのタイミングでどのように携わるのかを確認することができた。

### 4 今後の対応

- （1）毎年行っている避難所運営の関係者（自主防災隊、学校、地区防災班、中区本部）が一堂に会する地域防災連携連絡会等の機会を通じて、地域間で事前協議を行うようその重要性を伝えていく。
- （2）資機材の設置手順が個人に依存することのないよう、中区本部内でマニュアルを整備するとともに、自主防災隊にも周知を図る。